

## ④大型投資を見直し、適切な財政運営を！

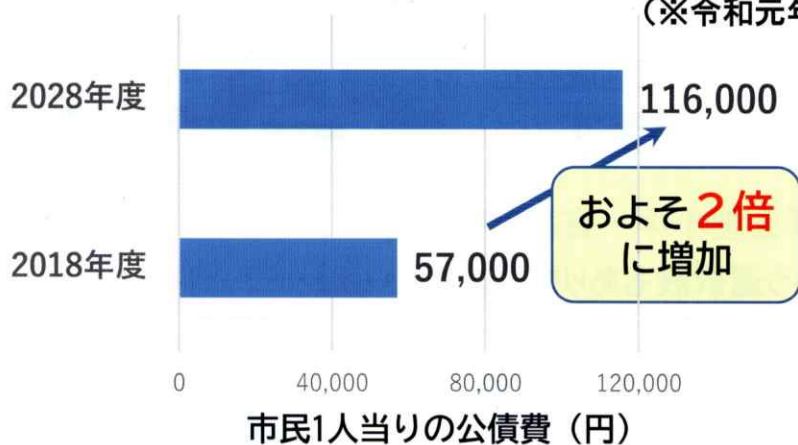
◎ 伊豆市の市債(借金)残高→**約180億円**(平成30年度末 一般会計のみ)  
それに対して、伊豆市の市税収入→**約40億円/年**しかありません。  
従って、伊豆市の人口を「**3万人**」とすると、

市民1人当り(赤ちゃんからお年寄りまで)の市債(借金)は**約60万円**となっています。

※ちなみに、財政破綻の恐れがある千葉県銚子市でさえも  
市民1人当りの市債(借金)残高は **約40万円**です。

◎ 現市長が 今後5年間(合併特例債期限の2024年まで)に推進しようとしている  
「新中学校建設」を含めた「**総額 約244億円**」にのぼる大型の公共事業を  
さらに進めると…

**借金の返済にあてる支出額(公債費)**は、2018年の「**約17億円/年**」から、  
ピーク時となる **10年後の2028年**には 「**約29億円/年**」に膨れあがります。  
(※令和元年11月の伊豆市財政シミュレーションによる)



また、左のグラフの通り、2028年には  
**市民1人当りの公債費は、**  
2018年と比べて大幅に増加し、  
**市民負担が増えます。**

※ 2018年の人口を3万人、2028年の  
人口を2万5000人(社人研推計)とする。

※このような財政運営を続けると、市民の皆さんが  
必要とする行政サービスを受けられなくなる恐れがあります。



↓  
だから、皆さんの大切な税金の**使いみちを見直す必要**があるのです！

### 【お知らせ】



鈴木まさと後援会事務所入口に  
**「目安箱」**を設置しています！

こんな声がよせられています。

『福祉にもっと力を入れて欲しい。』  
『安全に車椅子が利用できる環境を  
整えて欲しい。』 など

※どうぞ、お気軽にご意見・ご要望をお寄せください。